

第8回計画部会
(2022年4月4日)

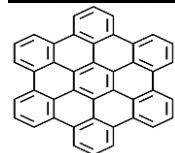
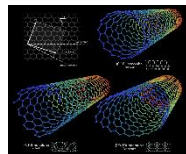
国土を広く使うインクルーシブな成長戦略 —国土計画の視点から—

坂田一郎

東京大学 工学系研究科教授/地域未来社会連携研究機構長

※学術論文データベースScopus全7千万論文の可視化による「知の森」

Society 4.0と5.0移行期の戦略

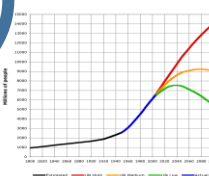


フィジカル

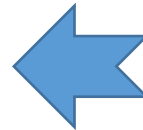
(新材料、電池、センサー、ロボット
機械装置、測定手法等)

サイバー

(データ、AI、フィンテック、
セキュリティ、5G・ローカル5G、
ブロックチェーン等)



知識化時代のインフラ
(データPF、知的交流拠点)



文理の深い知見
(工学、AI、人文社会・・・)

ハードについては地域間格差小さい!

ビジョン

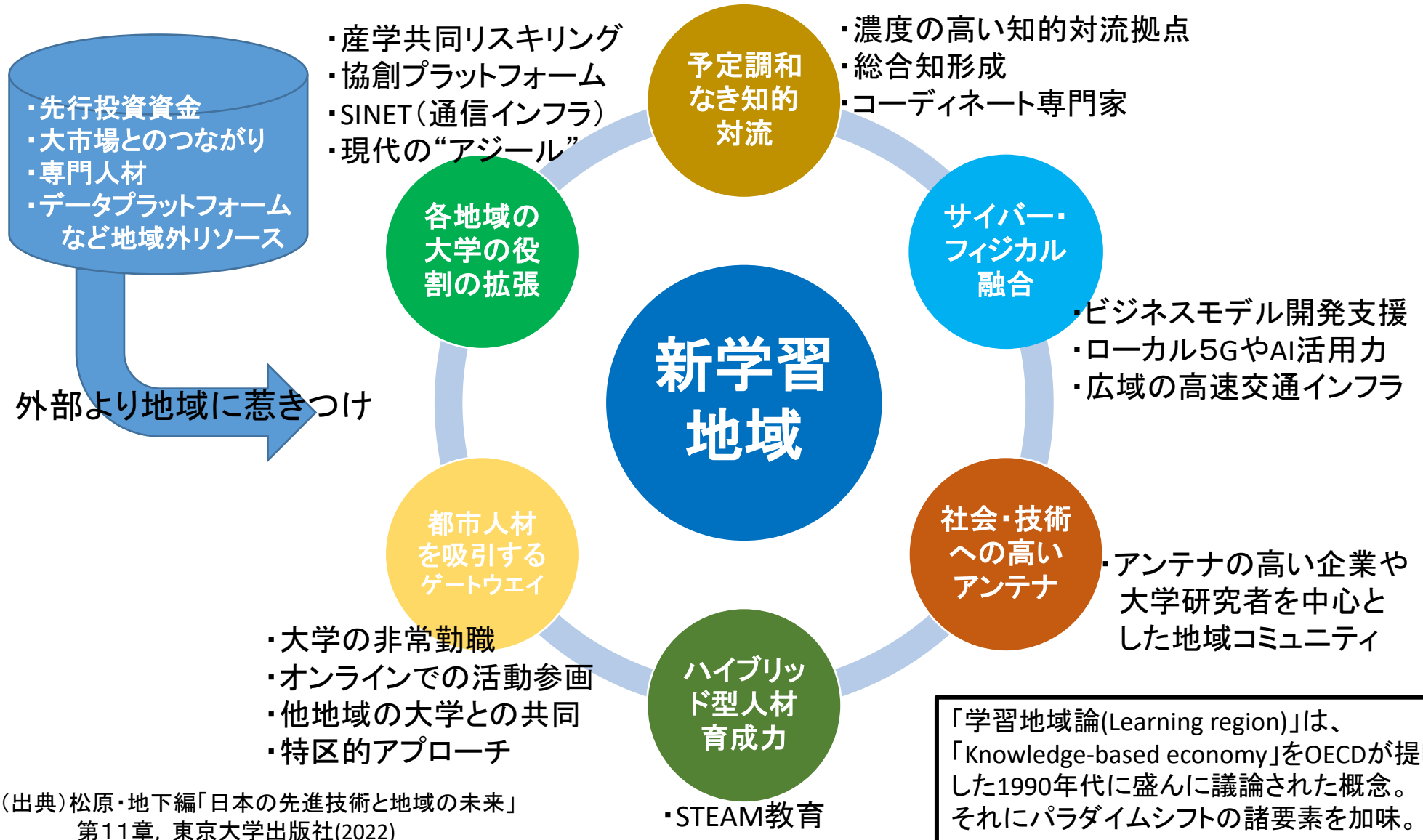
- ・GXによる増進される地域発の「新しい社会的価値」の認知
- ・社会の期待の創造(「工業化時代の価値」+「新しい価値」)
- ・日本/東アジア流のアプローチでさらなる付加価値



「言語」の壁を越えて世界市場にアクセス

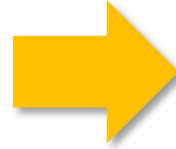
「成長力」と「各圏域の稼ぐ力」の創出

インクルーシブな成長を支える「新学習地域」

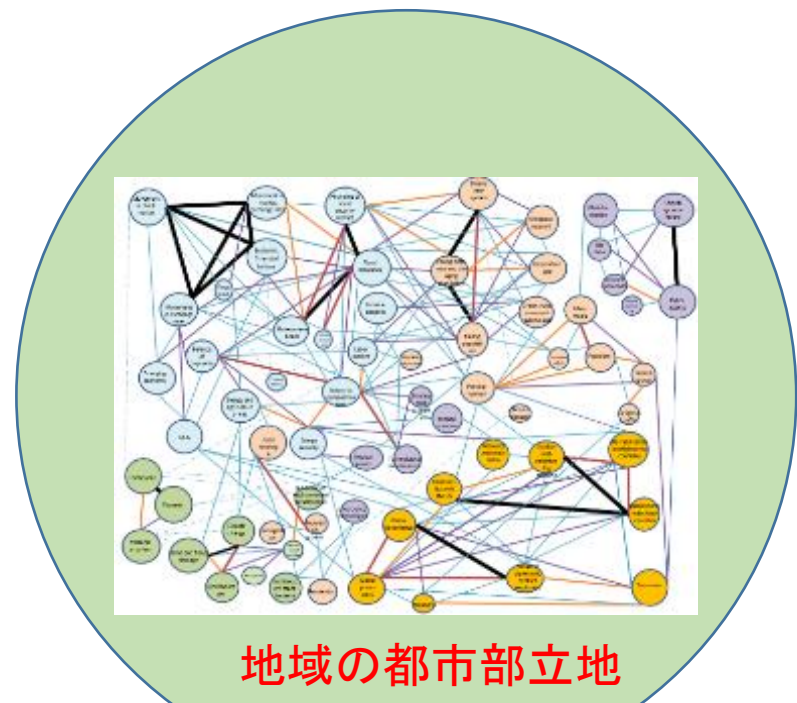
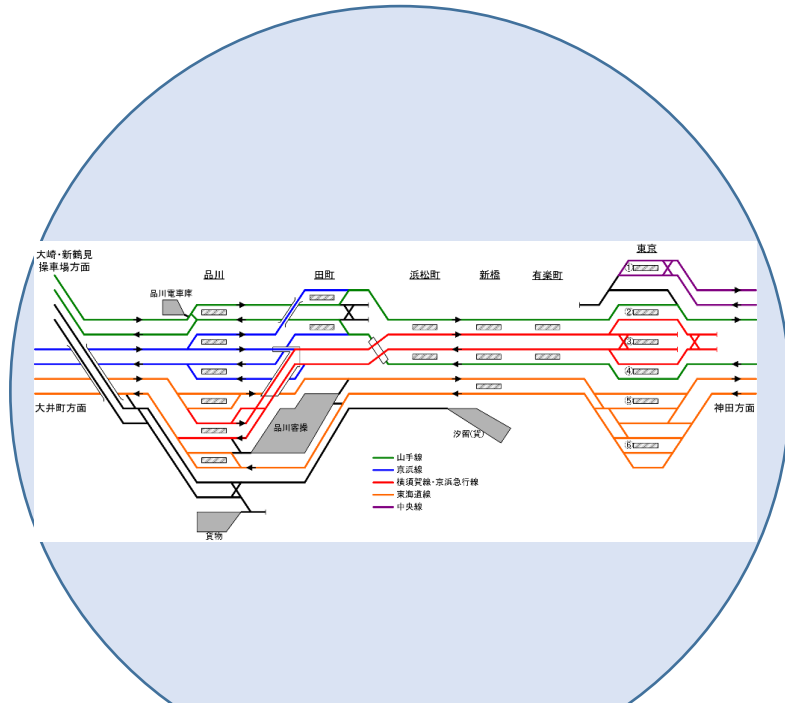


「予定調和なき知的対流」への転換

計画型の知的対流



予定調和なき知的対流



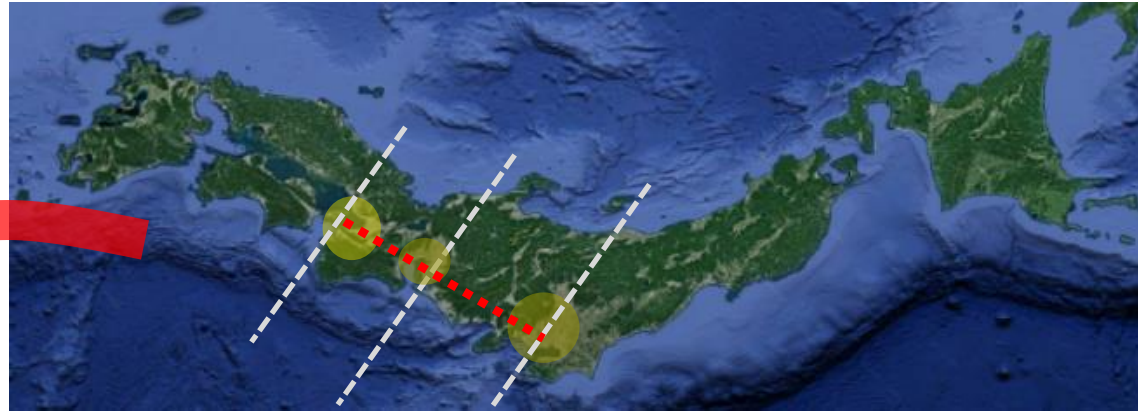
地域の都市部立地

- 従来の政府プロジェクトや組織
- 目標は明確、メンバー・進め方は計画的
- 定まった範囲の中での力の結集
- 成長モデルが見えている際に効果的

- 例「地域未来牽引企業サミット」、コワーキング
- ビジョンから議論、メンバー・進め方は柔軟
- フィジカル、サイバー、新しい価値の出会い
- 成長モデルが不明な場合に効果的

補完的な関係の国土の左右との密な連結

—スーパーメガリージョン構想の役割—



「列島の中央部を折りたたむ」効果

農林水産業
電気・電子産業
自動車産業 等



農林水産業
電気・電子産業
金属加工 等

各地域における産業の経営資源に「多様性」をもたらすとともに、
価値ある情報、知恵、感性、信頼、期待を運び、「学習地域」群を結びつける

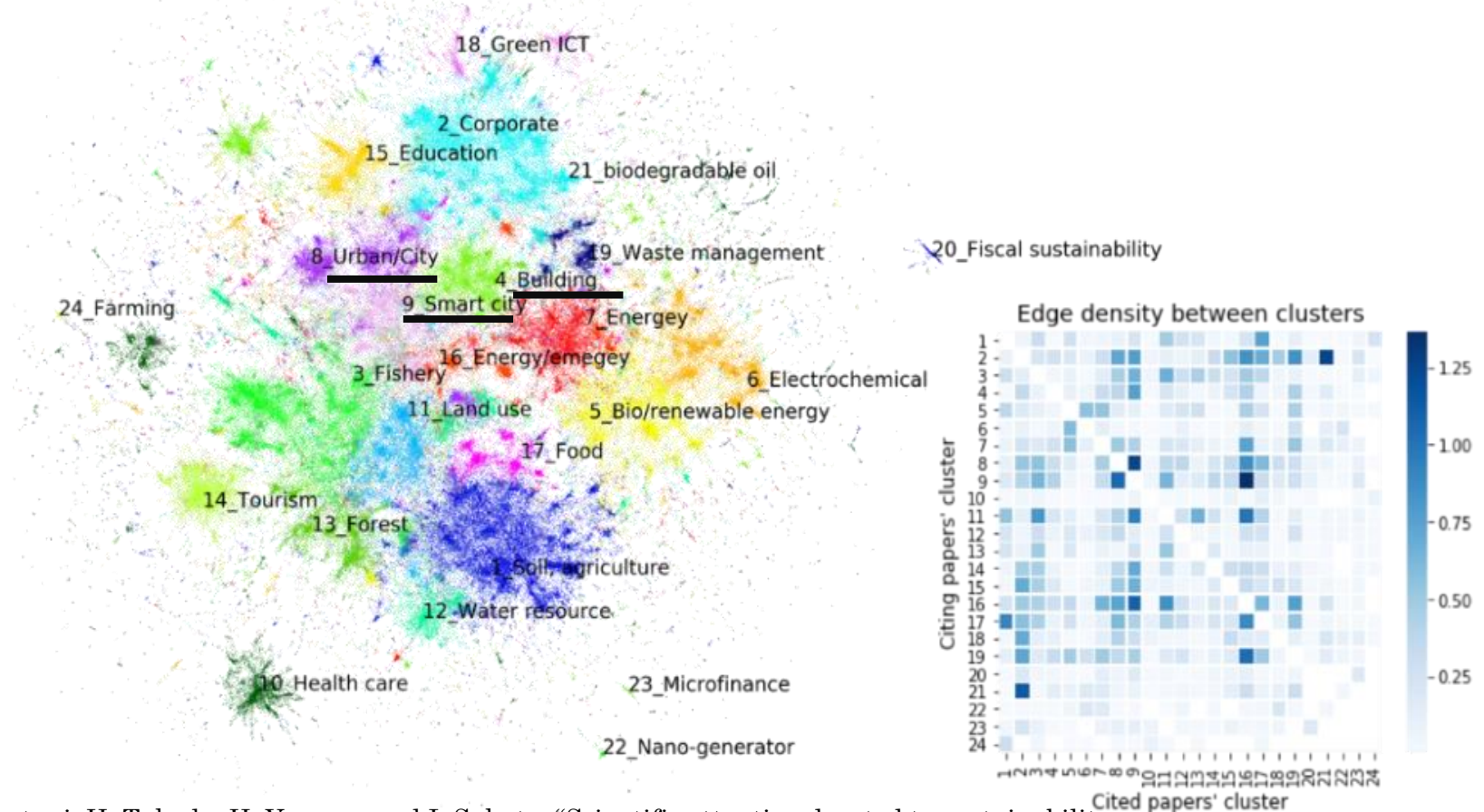
[参考]

サステナビリティ/SDGsの課題解決の中心にある都市

サステナビリティに関する30万本の学術論文を引用関係を元に知識を構造化

👉 世界のサステナビリティに関する「知識の森」

「都市」領域のテーマは、「エネルギー」領域と並んで、知の森の中心部に位置する



(出典) K. Asatani, H. Takeda, H. Yamano and I. Sakata, "Scientific attention devoted to sustainability and SDGs: Meta-analysis of academic papers", **Energies** vol.13(4) (2020),